

豊明市生涯福祉計画等策定・推進委員会議事の要旨

令和2年2月14日（金）

午後1時30分～3時00分

豊明市役所新館3階政策審議室

あいさつ

委員長からあいさつ

1 議事

- (1) 第3次豊明市障害者福祉計画の進捗状況について（資料1）
【資料1】に基づき事務局から説明。
- (2) 第5期豊明市障害福祉計画の進捗状況について（資料2）
【資料2】に基づき事務局から説明
- (3) 第1期豊明市障害児福祉計画の進捗状況について（資料3）
【資料3】に基づき事務局から説明
- (4) 令和2年度 第6期豊明市障害福祉計画および第2期豊明市障害児福祉計画の策定と第3次豊明市障害者福祉計画の中間見直しについて（資料4）
【資料4】に基づき事務局から説明

主な質疑応答と意見

【委員】

資料1にある、「障がい者理解促進に関するポスター掲示」に関して、市内公共機関や小売店等に掲示を依頼したとあるが、市内の小売店等ほどの範囲まで依頼をかけているのか。また、医療機関等にも依頼をかけているのか。そして、掲示したかどうかを行政として確認しているかどうか。

【事務局】

公共機関に関しては、学校支援室を通して市内小中学校に掲示依頼をかける予定です。本事業は、市内 NPO 法人に配布・掲示を委託しております。また、掲示してあるかどうかの確認は、今後、掲示した場所を委託事業者と情報共有しつつ、掲示の確認をさせていただきます。

※委託事業者が本委員会の委員であるため、補足説明を求めた。

【委員】

イラストの掲示依頼は、市内の小売店等へ現在進行系で進めております。また、医師会、歯科医師会に対しての依頼も行う予定です。

【委員】

資料2に市内事業者の見込みにおける各サービスの需給量の計画は、どのように把握されているのか。また、事業所の事業拡大ニーズありきで計画を立てているのか。

【事務局】

来年度の計画見直しの際には、サービスの需要の見込み値を計画に記載することになりますが、サービスを利用していない障がい者の数字や、学校を卒業して障がい児から障がい者へ切り替わる数字も見込み値へ含めることとなる。

各事業所は、サービスの需要量を現場目線で把握できており、それらの需要量を見込んだ上で事業所の運営方針および事業計画を立てているため、行政としては、そういった事業所の状況も把握する必要があると考えております。また、事業所という受け皿があるから需要が増えることも事実であり、障がい者の親は、「グループホームがあるならば、我が子を入所させようかなと考えるが、受け皿がない場合は自宅で介護等を行う」といったケースが、生活介護やデイサービスにおいても存在します。したがって、純粋な需要量だけでは図れない事象も勘案しながら計画を策定するため、需要量に対して多めに見込み値を設定することも考えております。

【委員】

地域生活支援拠点の整備に関しては、どのような状況でしょうか。

【事務局】

豊明市の拠点整備の現状は、5つの機能を全て有しているわけではないが、部分的に運用できる段階となっております。今後は、介護保険や障がいサービスを利用していない障がい者の把握を重点的に行っていきます。豊明市は、令和2年度中に整備完了を目指しております。

【委員】

地域生活支援拠点は、障がい者とその家族にとって、必要になる機能を有していると思いますので、是非とも整備を進めていただけると助かります。

【委員】

不登校やひきこもりの障がい児の親が、学校側と関係性が悪い場合があり、その場合、その児童に対する支援の方法が難しいものとなります。そういったことも想定して、子育て支援課だけでなく、学校教育課の意見を交えた計画策定を考えてほしい。教育分野から校長や教頭クラスの間を計画策定委員会に携わっていただけるとよいと思います。

【事務局】

学校現場の取り組みとして、「ひきこもりに関する会議」「不登校に関する会議」といった協議の場があり、子育て支援課の家庭相談室が委員として出席して協議しています。個々のケースに関しても、子育て支援課と学校教育課は協力しており、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと子育て支援課が連携を取り合いながら進めている。障がいの疑いがあるお子さんについては、学校を通じて子育て支援課へ相談していただいたり、障がい児相談支援事業委託による、子育て支援課に対する相談員や、家庭相談員と連携を取って支援を行っている。

障がいに対する理解は、学校現場で徐々に深まってきていると思うが、障がい児支援や事業所に関しては、全ての教員に浸透しきれていないというのが実情です。

委員の体制に関しては、次期計画の見直しを行う上で検討すべき課題だと認識しております。

出席委員 加藤 誠、近藤 二、平野 雅紀、三浦 美智子、早川 要、
森井 曜子、西川 恵子、水野 雅夫、松森 正起、河口 令子、
伊藤 裕、脇本 泰志、岩田 圭司

傍聴者 0名

事務局 健康福祉部長、社会福祉課長、子育て支援課長、社会福祉課障がい福祉担当係長、子育て支援課児童相談室担当係長、社会福祉課障がい社会係、豊明市基幹相談支援センター長、ファイン相談支援事業所相談員（市委託）